

船橋市教育大綱

～ 船橋市の未来のために ～

はじめに

62万人を超える市民が生活する船橋市は、長い歴史の中で都市としての力、魅力、人を育みながら大きく発展し今日を迎えています。

教育は、これからの船橋市のみならず、日本そして世界を豊かにする基盤となるものであり、その意義を十分に踏まえて、すべての市民が学ぶことができる場や機会をより充実した形で実現していかなければなりません。

将来を担う子供たちに「全国に誇れる船橋市」を引き継ぐため、この教育大綱を今後の船橋市の教育のさらなる充実に向けた指針とします。

大綱の基本方針

今後の教育施策は、教育振興のための施策に関する基本的計画として策定された『船橋の教育－教育振興ビジョン及び後期教育振興基本計画－』を確実に推進することを基本とします。また、特に留意する事項として、4つの取り組みに力を入れています。

1. 基本とする『船橋の教育』の概要

2つの教育目標

地域の教育力の向上を図り生涯学習
社会を実現する

社会の中で協調し自立できる子供を
育成する

目標実現に向けた8つの基本方針

- 地域の教育力向上を図ります
- 学ぶ意欲を育て確かな学力の向上を図ります
- 豊かな心を育成し社会性を高めます
- 健やかな体づくりを進め体力の向上を図ります
- 教職員の力量を高め指導力を発揮できる環境をつくります
- ニーズに応じた支援の充実を図ります
- 安全・安心で質の高い教育環境を整備します
- 市民の期待に応える教育体制を実現します

2. 留意する4つの取り組み

【社会状況の変化を受けて力を入れていく取り組み】

① 経済的に困難な状況の子供たちへの学習機会の拡充

家庭の経済的な状況の影響を受けることなく、子供たちの学びたい気持ちに応えられるように、学習する機会を得ることができる環境を整えていきます。

② 主権者教育の研究と導入

選挙権年齢の引き下げを受け、将来、社会の中で協調し自立できる子供を育成するため、主権者としての自覚を培う教育の研究を進め、導入していきます。

【子供たちと船橋とのつながりをより一層強化していく取り組み】

① 「ふるさと船橋」への思いの育み

船橋で育つことが子供たち一人一人の心の中で大きな意味を持つように、船橋の歴史、自然や文化などを学ぶ機会を充実させ、故郷である「ふるさと船橋」を誇りに思い、大切にする気持ちを育む教育を推進していきます。

② 学校教育と社会教育の連携

学校と公民館など、学校教育と社会教育の連携をより一層強化し、子供の頃から生涯にわたって学ぶ意欲を育むと共に、子供たちが地域社会の大切さを学べるよう地域活動に主体的に関わる機会を充実していきます。

平成27年10月

船橋市長 松戸 徹